

市議会における政策提案とその対策等					
〔一般質問〕					
担当課	子育て支援課	議員名	前田 邦幸 議員	提案月	H27.6
<p>〔提案事項〕</p> <p>公立保育園の施設は老朽化が進んでおり、改築又は建て替えを行うにあたり、民営化を検討してほしい。</p>					
<p>〔現況等〕</p> <p>平成 14 年にみなみ保育園を民営化したが、その後に計画していた松浦、南波多保育園については、地域住民からの署名運動もあり、一旦保留している。</p> <p>庁内において保育所検討会を設置するなど、民営化について協議を進めているが、方針の決定までには至っていない。</p>					
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <p>公立保育園の運営状況の現状を分析し、保護者等の意見を踏まえた上で、民営化の是非も含め今後の公立保育園の在り方について検討していく。</p>					
<p>〔対応状況・令和 3 年 3 月 31 日現在 完了〕</p> <p>すべての公立保育園の今後の整備方針を早急に定めるため、庁内関係部署により構成する伊万里市公立保育園整備検討委員会を設置し、平成 28 年 11 月までに 4 回の会議を開催した。</p> <p>会議では、公立 6 園のうち、築年数が経過している大坪・伊万里保育園、及び平成 14 年度に民営化したみなみ保育園の現地視察を踏まえ、公立保育園の現状と課題、民営化の効果等について確認を行うとともに、今後の整備方針について検討を行った。</p> <p>その中で、大坪・伊万里保育園については、現地での改修や建て替えは困難との判断から、建設候補地の検討を進めるにあたり、地元関係者の意見を聴取することとなり、大坪保育園については、地元区長会代表や利用している保護者代表等で構成する建設候補地検討委員会を 12 月に開催した。</p> <p>また、伊万里保育園については、大坪保育園と同様、区長会代表や利用している保護者代表等で構成する建設候補地検討委員会を平成 29 年 2 月に開催した。</p> <p>平成 29 年度に入り、6 月 30 日に大坪保育園の第 2 回候補地検討委員会を開催し、伊万里保育園についても 7 月 12 日に開催した。</p> <p>8 月に入り、公共施設適正管理事業債（充当率 90%、交付税措置 50%）の活用を検討することとなり、大坪保育園については、大坪公民館との複合化について、区長会と協議した。</p> <p>伊万里保育園・牧島保育園については、複合化後の候補地を 3 か所に絞り込んだものの、公共施設適正管理事業債の活用あるいは民営化等も含め、検討をしている。</p> <p>10 月には、大坪保育園と大坪公民館の複合化について 2 回目となる大坪地区区長会との協議、また、大坪保育園育友会・評議員会への説明を行った。さらに 10 月末には、大坪地区の区長会他各種団体代表等が委員となられているまちづくり運営協議会臨時総会を開催してもらい、複合化についての説明を行ったあと、複合化の内容等についてのアンケートを実施した。このアンケート集計を基に 2 回目のまちづくり運営協議会をこのアンケート集計を基に 2 回目のまちづくり運営協議会臨時総会を平成 30 年 1 月 18 日に開催してもらい、大坪保育園と大坪公民館の複合化について了承を得た。</p> <p>早速、平成 30 年度から基本設計に入るため、6 月議会での予算計上を予定している。</p>					

さらに、複合化となれば、車の出入りが増えることから、現在の赤門のある出入口でいいのか、それとも隣接地の用地を購入して新たに出入口を設けられないか、地権者と相談をしている。

7月4日に閉会した平成30年6月定例市議会で複合施設整備の基本設計委託料を承認いただき、7月17日に開催された大坪地区まちづくり運営協議会総会で改めて説明を行うとともに、8月には入札により設計業者が決定し、複合化の配置案等について検討している。

3月に基本設計案が出来上がったが、伊万里中学校の建設費が未定であること、今後の公立保育園の在り方を再度見直すため、複合施設整備については一旦保留となった。

4月になり、庁議等で協議を重ね、再度地元及び関係者に説明を行い、全面的な協力体制を得ることができれば、複合化を推進するという事となり、5月に区長会、まちづくり運営協議会、グラウンドゴルフ利用者への説明を行い、了承を得たことから、6月の庁議において、複合化を進めていくこととなった。

一方、他の公立保育園5園については、今後の在り方について、市民を交えた委員会等を設け、検討することとなり、9月議会において検討委員会の予算を計上し、10月から2月にかけて、委員会を開催することとした。早速、区長会、公立保育園、幼稚園の保護者代表、保育会代表、認定こども園代表、民児協代表、市民部長・教育部長からなる「公立保育園等施設整備検討委員会」を立ち上げ、10月、11月、12月と3回検討委員会を開催し、公立保育園の現状と課題、今後の方向性等を話し合った。

令和2年2月には、4回目の検討委員会を開催し、事務局から「公立保育園等施設整備基本計画」の素案を提示し、委員会として了承を得た。早速、伊万里市議会全員協議会での説明と合わせパブリックコメントを実施し、令和2年3月に正式に基本計画として策定した。

基本計画の方針として出している大坪保育園以外の公立保育園の民営化について、まずは地元、保護者への説明会として、令和2年4月末の区長会長会、5月の4地区区長会において説明を行い、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の関係もあり、説明会は延期とし、まずは説明資料を郵送した。6月に入り、少し落ち着いたことから、保護者説明会を順次開催した。

(令和2年7月～)

地元、保護者説明会では、令和3年度に民営化する場合の今後のスケジュールとして、8月に募集を行い、9月に移譲先法人を決定する旨説明していたが、民営化開始年を令和4年度とし、10月から募集を行うこととなった。

また、第1次計画として、伊万里保育園、牧島保育園、南波多保育園の3園を令和4年度に民営化する園とし、第2次計画として、大川保育園、松浦保育園の2園を令和5年度以降に民営化する園として進めることとした。

大坪保育園と大坪コミュニティセンターとの複合施設については、9月議会において、建設費の予算を計上し、令和3年1月着工に向け、準備を進めることとなった。

(令和2年10月～)

公立保育園の民営化については、第1次計画のうち、牧島保育園と南波多保育園について、10月16日から11月16日までの1か月間、公私連携保育法人の公募を行い、それぞれ1法人ずつからの応募があり、選考委員会での審査の結果、牧島保育園については社会福祉法人明志会、南波多保育園については社会福祉法人伊万里福祉会を公私連携保育法人候補者として選定した。

大坪保育園と大坪コミュニティセンターとの複合施設については、11月に入札を行い、12月議会で建設工事の契約議案を上程し、議決されたことから、12月23日付で本契約を締結し、1月から工事を始めることとなった。

(令和3年1月～)

公立保育園の民営化については、牧島保育園、南波多保育園の委譲先法人が選定されたことから、協議を始め、2月には保護者、法人、市からなる三者協議会の1回目を開催した。

3月には、定例市議会に、伊万里市立保育園条例の一部を改正する条例、財産の無償譲渡議案を上程し、議決を受け、児童福祉法に基づき、委譲先法人と公私連携型保育所の設置及び運営に係る協定の締結を行い、公私連携保育法人としての指定を行った。

大坪保育園と大坪コミュニティセンターとの複合施設については、1月15日に起工式を行い、3月まで基礎工事を行っている。

様式1

今後は、子育て支援課内に保育園民営化推進室ができることから、肅々と、民営化を進めていく。